

# 神田明神と江戸城

オンライン講演会の内容の一端を写真によりご紹介します。

参加者からは大好評「あっという間に終了時間、大変に興味深く有意義でした。」

好評につきアーカイブ配信決定！！

日時：2022年10月25日（火）13時30分から15時（予定）  
記念講演：神田明神 宮司 清水 祥彦 氏



昭和35年6月28日生 62歳  
現職 神田神社(神田明神) 宮司 (ぐうじ)

出身 東京都葛飾区  
昭和58年 國學院大学文学部 卒業  
昭和58年 鶴岡八幡宮(鎌倉市) 奉職  
昭和62年 神田神社(神田明神) 奉職 ~現在に至る  
平成15年~平成23年内閣府「災害教訓の継承に関する専門調査会」委員  
平成28年 東京都神社庁 副庁長 ~現在に至る  
令和元年 5月 神田神社 宮司 ~現在に至る  
令和元年 11月 一般社団法人千代田中央文化交流推進機構理事 長 ~現在に至る

テーマ：江戸の総鎮守（神田明神）と江戸城の深いつながり  
神田祭りと江戸文化体験型観光の可能性

## 神田明神について

江戸総鎮守 神田明神（宗教法人 神田神社）



二之宮 三之宮

えび平様 南无紫雲・開運招福 国土経営・縁むすび 皇朝の神 明治7年(1874)

一之宮 徳川氏様 除災厄除・勝負 慶長2年(1600)

### 神田明神の歴史

神田神社は天平2年(730)の創建。  
出雲氏族が、千代田区大手町・将門塚周辺に創建。  
その後、天慶の乱で活躍した平将門公の御霊を慰めて延慶2年(1309)に、神として祀る。  
戦国時代には、太田道灌や北条氏綱たちの崇敬を受け慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いに徳川家康が出陣する際、戦勝祈願を行ない、神田祭の日に見事に勝利する以降、徳川將軍家の崇敬を受け、江戸総鎮守となる。

## 平将門公との深いつながり 神田祭、山車と神輿

江戸総鎮守 神田神社ご祭神 三の宮 平将門命

強きを挫き・弱きを助く  
=江戸っ子の精神基盤

敗者への共感・世直し  
の神 崇り神から、守護神へ

### 神田祭の特色 4点

- ①江戸総鎮守 神田明神の御祭礼
- ②徳川將軍上覧 (江戸城に入ることができた)
- ③山王権現(日枝神社)と隔年(2年に一度)斎行
- ④天下祭・御用祭とも呼ばれた

## 神田明神の将来像について（創建1300年事業、神田明神文化交流館について）

神田明神創建1300年記念事業

文化の鼓動を生む  
神田明神 人と街をむすび、時の文化が響く場所へ。  
創建1300年 KANDA MIYUJIN 1300th

募集受付中

神田明神1300年記念事業 メイン会場 文化交流館建設

平成30年12月15日 グランド・オープン

EDOCCO 神田明神文化交流館 EDO Culture Complex

4F 文化交流館

文化交流館

明神会館 プライダルハンケット

建設設計：乃村工務社

これまでの「伝統と革新」から  
↓  
新しい時代に対応した 新たな価値を  
↓  
これからの神社は「伝統を創造する場へ」  
変わらないために、変わり続ける  
伝統は「アップデート」するもの